

FP3・2級 学科実技同時合格の秘訣

1 FP試験概要

■試験日程(予定)

○平成24年1月22日(日) → 合格発表：2月29日(水)

○平成24年5月27日(日) → 合格発表：7月4日(水)

○平成24年9月9日(日) → 合格発表：10月19日(金)

※試験の実施日程等は試験実施団体のホームページまたは受検願書等でご確認ください。

試験時間：3級（学科 10：00～12：00、実技 13：30～14：30）

2級（学科 10：00～12：00、実技 13：30～15：00）

※3級と2級の試験は同日実施のため、両試験を同日に受験することは出来ません。

※本試験当日の夕方には、試験実施団体のHPに解答が公表されます。自己採点での判断にはなりますが、実質的に受験当日に合否が判定できます。

■合格基準

学科、実技ともに、**60%の正答で合格の絶対基準**となります。

■合格率

＜3級試験＞ 日本FP協会実施分（※平成23年1月より実施）

	—	—	—	—	H23年1月	H23年5月
学 科	—	—	—	—	84.45%	83.57%
実 技	—	—	—	—	98.42%	97.93%
同時合格	—	—	—	—	85.56%	86.19%

＜3級試験＞金融財政事情研究会

	H21年9月	H22年1月	H22年5月	H22年9月	H23年1月	H23年5月
学 科	78.42%	91.67%	62.37%	62.07%	71.68%	71.80%
実 技	51.74%	76.93%	64.72%	57.48%	35.42%	72.96%

（同時合格率は未発表）

＜2級試験＞ 日本FP協会実施分

	H21年9月	H22年1月	H22年5月	H22年9月	H23年1月	H23年5月
学 科	34.25%	29.17%	55.20%	43.11%	35.63%	42.51%
実 技	44.58%	43.06%	42.23%	36.64%	69.34%	56.92%
同時合格	28.60%	24.86%	34.90%	31.20%	37.06%	41.54%

【ポイント】

FP技能検定は競争試験ではありません。つまり、ライバルのいない試験ですので、合格率を気にしてもさほど意味がありません。問題の相対的な難易度の把握にとどめ、自分自身が60点以上取ることに集中しましょう！

2 最近の試験傾向と合格の秘訣

(1) 3 級試験

①合格率と合格者への評価

合格率が高いため、一般的に合格者に対しての評価は高くありません。「F P の知識を持っている」「F P の知識を活かせる」という評価のためには、少なくとも 2 級・AFP 合格が必須といえます。

②高合格率の要因

高合格率の要因は、試験問題の形式が「二択」と「三択」だけで合格基準が 60%であることにあります。結果として、分からなくても確率的に正答してしまうことも多いため、必ずしも「合格＝知識あり」とはいえませんが、合格者への評価が高くない要因でしょう。

しかし、出題範囲は広く、問題そのものは良問も多いので、「合格＝知識あり」の状態まで正確に理解するには、しっかりとした学習が必要です。

【合格の秘訣】

F P 6 分野全体から幅広く、基本的な内容が出題されます。2 択と 3 択の問題で、60%で合格ですから、全論点を正確に理解する必要はありません。重要論点を理解できるようにしっかり学習し、そのほかの細かい論点は 2 級に進んでからという割り切りも必要です。

特に学科試験では、2 級レベルや 1 級レベルの問題が出題されることもありますが、このような過去問題には過剰に不安にならず、学習範囲を広げないことが大切です。実技試験では、FP 協会の実技試験(資産設計提案業務)は、出題傾向が安定しているため対策も非常にしやすくなっています。

そのため、やや学科試験に比重を置いた学習を心掛けると同時合格しやすいといえます。

学科試験	単語、専門用語、重要な数字を正確に覚えることが学習の中心となります。2 択と 3 択の問題は、 <u>2 択のほうが難しい</u> ので、ひっかけ問題にひっかからない注意力が必要です。
実技試験 (F P 協会)	実技試験攻略のポイントは次のとおりです。 ① ライフプランニングと資金計画 を重点的に学習！ 全体の約 4 割がこの分野から出題されます。 ② 定番問題を反復演習 ！ 「係数」「キャッシュフロー表」「バランスシート」「生命保険証券の読み取り」など毎回出題される問題を確実に得点するため、最優先で仕上げます。

(2) 2 級試験

①合格率と合格者への評価

学科・実技の平均同時合格率は、約 30 % 程度と比較的低い試験であるため、合格者に対しての社会的評価も高くなります。

また、2 級試験では、「生命保険証書の読み取り問題」や「不動産広告の見方」など、実生活でもすぐに使える知識が問われるため、自分自身のファイナンシャル・プランに活かすためにも、2 級・AFP レベルの学習がより効果的といえます。

②学科試験と実技試験の難易度と合格率

実技試験の合格率は、おおむね学科試験よりも高く、難易度は実技試験の方が低い（合格し易い）傾向にあります。実技試験では、事例に即した出題、資料の読み取り問題、計算問題などの定番問題が多いため、「事前演習をどれだけ行ったか」が合格に直結します。受験者の中には、知識の習得に学習の中心をおき、実技試験の演習対策をきちんと行わない人もいますが、実技試験の合格力を高めるためには、実技試験対策に適したテキストや問題集を使用し、効率的な学習、演習を行うことがたいへん重要です。

【合格の秘訣】

学科試験の難易度は、一時期に比べて易しくなっています。ただし、実技試験に比べて詳細な知識が問われますので、各論点の正確な理解が必要です。実技試験（FP 協会）は、3 級試験に比べて計算問題が非常に多くなります。ただし、計算問題の難易度は高くなく、定番問題が繰り返し出題されていますので、とにかく過去問題の演習を繰り返すことで、得点が徐々に上がってきます。

実技試験は比較的短期間で合格レベルまで仕上がりますので、3 級試験と同様に、やや学科試験に比重を置いた学習を心掛けると同時合格しやすいといえます。

学科試験	学科試験攻略のポイントは次のとおりです。 ① 得点源（10 点中 8 点以上取れる）になる分野を複数分野作る！ 苦手な分野は必ずでてきますが、課目ごとの足きり点はありませんので、得意な分野でカバーできます。 ②タックスプランニングのうち「所得税」はしっかり理解！ 所得税はほかの分野でも出題されるため、各分野の得点を伸ばせます。
実技試験 (FP 協会)	実技試験攻略のポイントは次のとおりです。 ① 「ライフプランニングと資金計画」を重点的に学習！ 全体の約 4 割がこの分野から出題されます。 ② 計算問題を中心に、定番問題を反復演習！ 「毎回出題される問題」が多数あるので、事前に傾向を把握して、最優先で仕上げます。この定番問題を確実に正解できるか否かで合否が大きく分かります。 ③ 90 分でミスなく全問解答する力をつける！ 一般的に時間が足りなくなる傾向にあります。事前の問題練習は、必ず時間をはかって行うことが重要です。

3 級試験と 2 級試験の出題例

《テーマ：金融市場》

【3 級】（学科） ○×式

一般に市場金利は、景気がよくなるにつれて低下し、景気が後退するにつれて上昇する。

【2 級】（学科） 四肢択一式

景気とマーケットの変動等についての一般的な関係を説明した次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 景気拡大期に設備投資意欲の高まりを背景とした企業の資金需要が拡大すると、金利水準は上昇傾向となる。
2. 景気後退期に金融政策が金融引締めから緩和に転換すると、貸出金利は低下傾向に転じる。
3. 景気が底を打ち企業業績の回復期待が高まると、株価は上昇局面へ向かう。
4. 景気後退期に企業の経済活動が停滞し個人の収入が増加せず消費需要が減退すると、物価が上昇する。

→ 出題形式が変わり、一見難しくなったように見えるが、3 級レベルの知識で十分解答できる典型例。

答:3 級 ×、2 級 4

《テーマ：医療保険》

【2 級】（F P 協会実技試験）

文雄さんは、会社の定期健康診断で胃腸の異常を指摘され、再検査の結果、近々入院して治療を受ける予定である。文雄さんは、医療費が高額になった場合の一部負担金について、F P の山下さんに相談をした。山下さんが説明した下表の空欄（ア）～（ウ）に入る適切な数値を語群の中から選び、その番号のみを解答欄に記入しなさい。なお、文雄さんは、全国健康保険協会管掌健康保険（協会けんぽ）の被保険者である。

＜70歳未満の方／1ヵ月当たりの医療費の自己負担限度額（一部負担金）＞

所得区分	医療費の自己負担限度額
上位所得者	(ア)円＋(総医療費－500,000円)×1%
一般	(イ)円＋(総医療費－267,000円)×1%
低所得者	(ウ)円

＜語群＞

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 12,000 | 2. 24,000 | 3. 35,400 |
| 4. 72,300 | 5. 80,100 | 6. 90,200 |
| 7. 120,000 | 8. 150,000 | 9. 180,000 |

→ 3 級、2 級でともに学習する「高額療養費」の論点。上記は 2 級の出題例だが、3 級でも学習内容は同レベルである。生活に密接した知識の典型例で、生命保険の加入やライフプランにも大きく影響する。そのほかにも年金や介護、雇用保険など「ライフプランと資金計画」の科目では、生活に役立つ知識が満載で、学習のメリットを感じやすい科目といえる。

答: (ア)8 (イ)5 (ウ)3

《テーマ：生命保険証券の読み取り》

【2級】（FP協会実技試験）

大嶋さんが加入している下記の生命保険に関する次の記述の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値を解答欄に記入しなさい。なお、大嶋さんはこれまでに下記の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

[終身医療保険]	
◇保険契約者：大嶋 千枝子様	◇契約年月日
◇被保険者：大嶋 千枝子様 契約年齢 30歳	平成18年3月1日
◇保険契約者との続柄：本人	◇保険期間：終身
◇受取人	◇保険料払込期間
給付金受取人：被保険者様	60歳払込満了
死亡保険金受取人：大嶋 隆志様	◇保険料：2,960円
保険契約者との続柄：夫	◇保険料払込方法：月払い

◆ご契約内容

入院給付金：入院日額 5,000円
手術給付金：10万円（手術1回につき）
死亡・高度障害保険金：50万円

※2日以上継続入院で1日目からの給付となります。

※入院給付金支払い限度は、1入院60日、通算して1,095日です。

1. 千枝子さんが、現時点（34歳）で、切迫流産により7日間入院した場合、入院給付金として（ア）円を受け取ることができる。
2. 千枝子さんが、現時点（34歳）で、ガン（悪性新生物）により手術を1回し、20日間入院した場合、手術給付金と入院給付金の合計（イ）円を受け取ることができる。
3. 千枝子さんが、現時点（34歳）で、交通事故により死亡（即死）した場合、隆志さんは死亡保険金として（ウ）円を受け取ることができる。

→ 3級、2級ともに出題される「生命保険証券の読み取り」に関する出題例。上記は2級の出題例だが、3級でも出題されている。必要な知識レベルはさほどかわりないので、3級の学習段階で理解できていると2級の実技試験においてはスムーズに解ける論点。

FP試験は「技能士」として、実践で役立てられるかを試しており、上記のような実践問題が出題されている。

答：（ア）35,000（円） （イ）200,000（円） （ウ）500,000（円）

《テーマ:バランスシートの計算問題》

【2級】(F P 協会実技試験)

＜設例＞

平尾則夫さんは、物品販売業（平尾商店）を営む自営業者（青色申告者）である。今般、自分自身の老後のことや税金、事業などに関して、F Pで税理士でもある楠本さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも平成23年4月1日現在のものである。

1. 平尾家の家族構成(同居親族)

氏 名	続 柄	生年月日	年 齢	職 業
平尾 則夫	本人	昭和28年7月10日	57歳	個人事業主
久子	妻	昭和26年9月23日	59歳	青色事業専従者
秀樹	長男	昭和55年6月12日	30歳	会社員
和樹	二男	昭和57年5月18日	28歳	会社員

※久子さんは平尾商店の青色事業専従者である。

2. 平尾家の財務データ

＜保有資産（時価）＞

（単位：万円）

所有者（名義）	則夫さん	久子さん
金融資産		
預貯金等	5,260	1,100
その他の金融資産	2,270	—
事業用資産		
販売用商品	581	—
その他の事業用資産	120	—
不動産		
自宅(家屋及び敷地)	8,500	—
事業用不動産(店舗及び敷地)	11,500	—
その他（動産等）	300	100

※預貯金等には、平尾商店の事業用の預貯金も含まれている。

＜負債残高＞

事業用ローン：1,869万円（債務者は則夫さん。団体信用生命保険の付保あり）

J M銀行証書借入れ：2,500万円（債務者は則夫さん。店舗建設資金）

＜その他＞

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこと。

問題

F Pの楠本さんは、まず現時点（平成23年4月1日現在）における平尾家のバランスシート分析を行うこととした。下表の空欄（ア）に入る数値を計算しなさい。なお、資産・負債ともに、未収利息・未払利息など支払期日の到来していない利息等については考慮しないこと。

＜平尾家のバランスシート＞

（単位：万円）

〔資産〕		〔負債〕	
金融資産	×××	住宅ローン	×××
事業用資産	×××	証書借入れ	×××
不動産	×××		
その他（動産等）	×××		
		負債合計	×××
		〔純資産〕	（ ア ）
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

→ 2級試験で毎回出題される「バランスシートの計算問題」。毎回出題されるため、スクールで学習している受験生は、ほぼ確実に正解できるサービス問題。会計の知識がないと解けないようにも見えるが、実際には「足し算と引き算」しか使わないので、会計の知識がなくても難なく正解できる。生命保険証券の読み取り問題と同様に、3級でも出題されているため、3級の学習段階で基本的な内容を理解できているとかなり楽になります。

そのほかにもキャッシュフロー表の計算問題や係数を使用した計算問題など、3級と2級の共通問題が多数あるため、3級学習時から2級の出題傾向を意識しておくとも2級も合格しやすくなります。

答： 25,362(万円)